

# 特別支援教室紹介

～一人一人に合った学習をしながら、できることを増やすところ～

◇特別支援教室は、「友達ともっと仲良くしたい」「もっと楽しく学校に通いたい」という願いをもっている児童に対して、一人一人のめあてに応じて支援をする教室です。人と円滑な関係を築いていくためのソーシャルスキルや、一人一人に合った学習の仕方などを、主に1対1の個別指導で学習しています。

◇特別支援教室での様々な学習を通して得意なことを増やし、苦手なことを減らしていくことで、児童が自分の良さを再発見し、今より更に友達と心地良く日々の生活を送っていくことができるようになることを目指しています。



このような心配がありましたら、学級担任に御相談ください。

- ◎集団行動に苦手意識をもっている。
- ◎授業に集中できず、立ち歩いてしまう。
- ◎初めて体験することや、いつもとちがう環境に強い不安を感じてしまう。
- ◎特定の教科や一部の学習で不安を感じている。
- ◎友達との関わりや自分の思いを伝えることに苦手意識をもっている。
- ◎家ではよく話すが、学校ではほとんど話をしない。 等

御相談をいただいた後に、

- ・特別支援教育コーディネーターを中心として校内全体で情報の共有をする。
- ・スクールカウンセラーや巡回心理士が観察をし、情報の共有をする。
- ・教育相談室等の専門機関に相談をする。

→このように、**御家庭・学校・専門機関等で連携して**、どのような支援を行っていくことがお子様にとって望ましいのかを考えていきます。その**支援の形のひとつが特別支援教室です。**

◇特別支援教室に入室するためには、特別支援教室巡回指導開始希望届や心理検査結果等の必要書類を区に提出する必要があります。受理された後、就学支援委員会（年に5回ほど）で審議され、入室、または経過観察になるかが決定されます。詳細は入室時の流れを御覧ください。

◇特別支援教室では、学習指導要領「自立活動」に基づいて、週1～2時間ほど、巡回指導教員が個別指導や必要に応じて教室支援等を行います。学習の遅れを補うといった教科学習は行いません。

自立活動の指導例…ソーシャルスキルトレーニング（SST）、指先の使い方を高める運動、体を大きく動かす運動、ビジョントレーニング など

三小特別支援教室



個別指導室内の様子

